



樋原 楓様

Kaede Hibara



私は、以前から海外のバレエスクールに留学して一日中バレエを学ぶことが夢でした。日本では普通科の高校に通い、放課後は直接バレエスクールへ向かう毎日でした。高校3年生になり卒業後の進路を考える時期になり、夢であった留学をしたいと思い、アドミッション留学センターのカナダオーディションツアーに参加しました。私がビクトリアアカデミーオブバレエ(VAB)を選んだ理由は、デレクターのBleiddyn Bellis 女史のバレエに対するパッションを強く感じ、この環境でバレエを学びたいと思ったからです。

そして高校卒業後、VABに留学することができました。日本では留学は早い方が良い、高校卒業後では



遅すぎると言われてきましたが、私は高校卒業後でも遅いということはないと思っています。なぜなら日本の高校で学んだことは決して無駄ではなく必ず役に立つということを実感しているからです。ブリッジプログラムには様々な生徒がいて、年齢を問わず、皆親しみやすいです。また



卒業後プロフェッショナルダンサーとしてカンパニー(バレエ団)への入団を目指している生徒が所属しており、先生方はカンパニーオーディションに向けて履歴書の書き方やビデオの撮り方などを指導して下さいます。

私はホストファミリーと暮らしているのですが、ステイホーム期間に家からzoomでクラスを受けなければならないときも、理解あるホストファミリーの協力で不自由無く過ごすことができました。ホリデーにはハイキングに連れて行ってもらったり、一緒にディナーを楽しんだりしてます。

これから留学を考えている方は、コロナ禍で思い通りに行かず不安も多いかと思いますが、なりたい自分になるために、今できることを考え、目標に向かって一生懸命頑張ってください!

